

## 3年ぶりの黒字化は 社員の努力の結果だ!

JR東日本は4月27日に「2023年3月期決算」を発表しました。昨年10月からのインバウンドの制限解除による海外からの入国者の増加、全国旅行支援などにより、JR東日本の2023年3月期の決算は992億円となり、3期ぶりに黒字化となりました。

23春闘で会社は、「黒字化はしたものコロナ前とは比べ物とならない」「コロナ前には戻らない」ことを強調していますが、ゴールデンウィークの利用状況だけを見ても91%の回復となり、インバウンドのさらなる拡大などにより、ほぼ100%回復することが想定され、国労要求に応えることは十分可能となっています。

年度	決算(連結)
2018	2952億円
2019	1984億円
2020	△5779億円
2021	△949億円
2022	992億円

夏季手当アンケートにご協力を!



### 夏季手当アンケートの声【ベスト5】

- コロナ前に戻らなければ働く意欲が無くなってしまう。
- 黒字になったのだから減額分を上乗せしてほしい。
- 仕事量は同じ・増えているのに納得できない。
- 賃金の穴埋めなので削減は困る。
- 黒字化は経費削減など社員の努力であり応えてほしい。

国労要求  
3.0ヶ月

## 満額回答を勝ち取ろう!